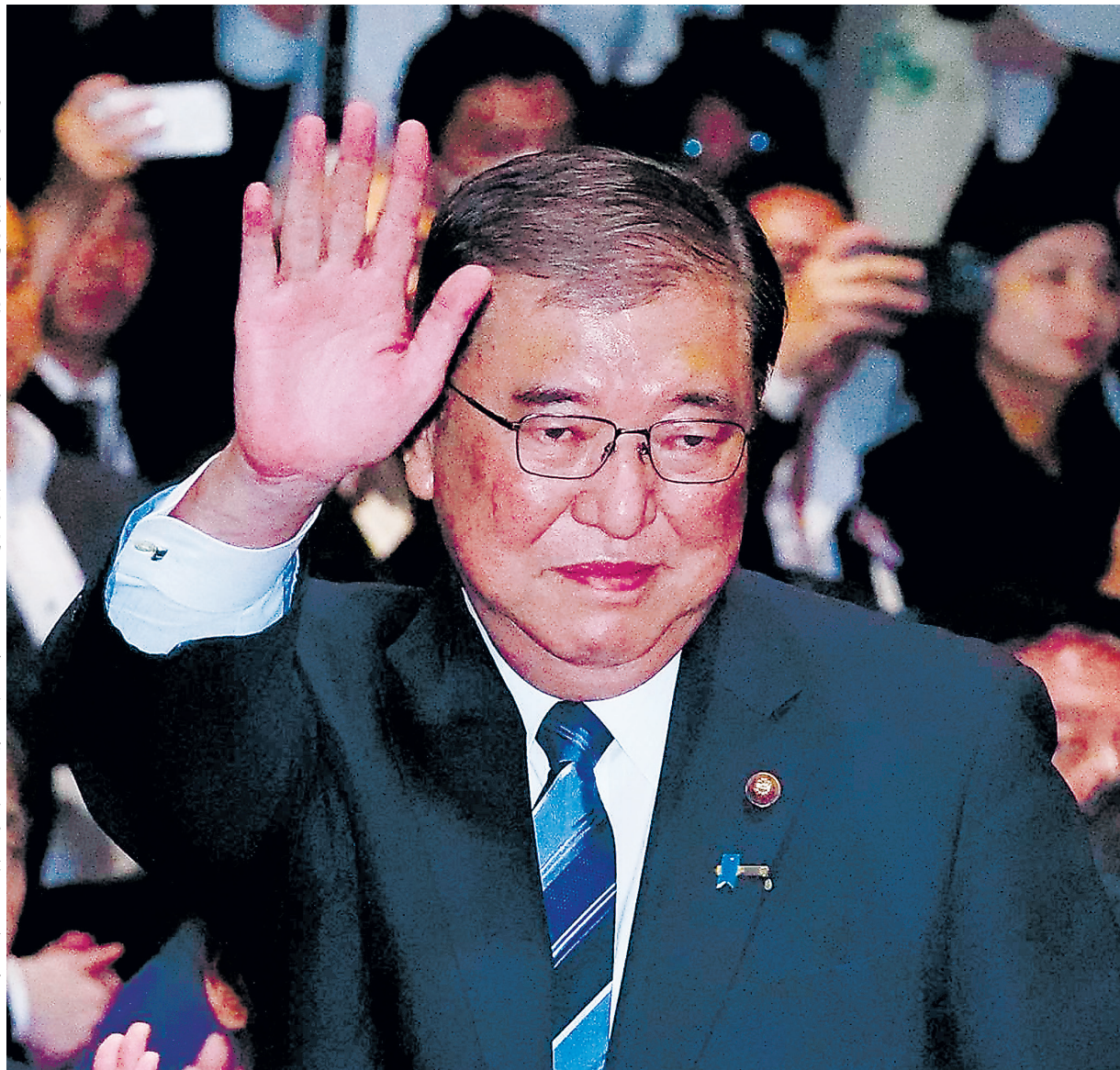


自民総裁に石破氏

決選投票で高市氏破る

自民党総裁選は27日、党本部で投票開票され、石破茂元幹事長(67)が第28代総裁に選出された。1回目の投票で過半数に達した候補者はなく、上位2人による決選投票の結果、石破氏が高市早苗経済安全保障担当相(63)を破った。10月1日召集の臨時国会で、岸田文雄首相の後継となる第102代首相に指名される。早期の衆院解散・総選挙が取り沙汰されており、石破氏の判断に注目が集まる。



自民党の新総裁に選出された石破茂氏。27日午後3時23分、東京・永田町の党本部

石破 茂氏(いしば・しげる)慶大卒。銀行員を経て86年に衆院初当選。93年に自民を離党し97年に復党した。防衛相、農相、党政調会長、幹事長、地方創生担当相を歴任。安全保障と地域活性化がライフワーク。67歳。鳥取1区、当選12回。

▶自民総裁選 決選投票開票結果

石破 茂氏 215 (議員票189 地方票26)

高市早苗氏 194 (議員票173 地方票21)

任期は2027年9月までの3年間。石破氏は党役員人事に着手し、新執行部を発足させる。

総裁選は岸田氏の総裁任期満了に伴うもので、派閥裏金事件に端を発する派閥解消の流れを受け、過去最多9人の争いとなった。石破、高市両氏のほか、小林鷹之前経済安保相(49)、林芳正官房長官(63)、小泉進次郎元環境相(43)、上川陽子外相(71)、加藤勝信元官房長官(68)、河野太郎デジタル相(61)、茂木敏充幹事長(68)が立候補した。